



《大熊 公平》

官製談合防止法違反事件の背景と対策について

問 この度、職員が逮捕された。あつてはならない事件だ。なぜ起きたのか、その背景と再発防止策はどうか。

答 タガが緩んでいた。今後はコンプライアンスにしっかりと取り組み、設計額の公表と電子入札を組み合わせ、再発防止に取り組む。(市長)

定住促進策について

問 地方分権戦略会議(定住促進チーム)が発足してから10か月が経過した。進捗状況はどうか。

答 昭和地区を定住特区と位置づけ、来年3月にその成案を議会に提出する。(市長)

問 市外、県外からの転入希望が多い。いきなりの転居は難しい。お試し住宅の制度、市営住宅の入居資格の見直しはどうか。

答 現在の市営住宅では対応ができないし、入居資格の変更もできない。(市長)

農業問題について

問 減反廃止、TPP参加など水田営農は厳しい現実だが、今後、野菜作りを視野に入れ、思い切った水田の畑化も必要ではないか。

答 この先、農業の構造改善が必要だ。水田の畑化は大事なこと。取り組んでいかなければいけないと考えている。やりましょう。(市長)



畑で収穫されるじゃがいも

信号機の設置について

問 設置の要望と、設置状況についてはどうか。

答 県警本部で緊急度の高い順に整備している。今後さらに文書等で要望していく。(市長)



東公民館阿曾分館

公民館について

問 清音地区に公民館の分館はなぜないのか。

答 合併調整時に公の施設として管理したものが存在していなかった。全体的に分館の考え方をどうするか切り替える時期が来ている。早急に検討する。(教育長)



交通量が多いが信号機のない交差点



《笠原 武士》

一括交付金制度について

問 ①各小学校区で、どんな問題があるか。②平成26年の4月に同時スタートが可能か。③各地区ではどの範囲の事業まで担当するのか。④協議会への器具・備品は援助できるか。⑤協議会役員の選定への、何か助言ができるか。

答 ①大型小学校区では、構成コミュニティも多く、ともに苦労している。②同時スタートは困難、完了した地区から始める。③土木担当員・PTA等は従来の方法で活動してください。④器具・備品については26年度予算で考える。⑤役員選出は地区の問題である。規約書作成等の支援は可能と考える。(以下市長)

福祉政策について



《岡崎 亨一》

問 児童発達支援センター総社はばたき園の現状はどうなっているのか。

答 28名のスタッフで運営し、児童定員30名のところ39名を受け入れている。(市長)

問 総社はばたき園の待機児童の解消対策はあるのか。

答 デイサービス「かしゆかしゆ」との連携で考えている。(市長)

問 待機児童の解消の予算化をするつもりはあるのか。

答 その必要性は感じている。(市長)

問 総社はばたき園卒園後の対応についてはどうか。

答 これから就学相談を行うところである。(市長)

官製談合防止法について

問 ①官製談合はなぜ防止できなかったか。②入札方法の中で、どの部分が問題であったのか。③新しい入札方式では、何を改善するのか。④今後の入札では定期的な確認作業が必要ではないか。

答 ①職員間の話し合いが少なく、コンプライアンスが不足していた。②最低制限価格と落札価格の一致する件数が多い。③設計価格の事前公表、最低制限価格の変動幅を拡大する。④時期・方法を十分考えて、確認作業を実施する。



地域づくりの拠点ともなるコミュニティハウス

問 発達支援施設の利用料支払方法についてはどうか。

答 一割負担か、上限額三通りのうちの低い額になっている。(以下市長)

問 支払の償還払いの負担を軽減できないか。

答 複数利用の場合、国保連合会に委ねているので厳しい。

問 災害時の総社はばたき園の避難体制マニュアルはあるのか。

答 事業毎のマニュアルがあり、引渡方法も考えてある。訓練もしている。



総社はばたき園(小寺)